



吉野ヶ里遺跡では復元された建物が見られます。ここが邪馬台国だとする人もいます。縄文の集落とは全然ちがいます。奈良県では唐古鍵遺跡が弥生時代の遺跡として有名です。



## 香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第8号 2020.6.1(月)

— 社会の授業から —

### 弥生時代—戦争の始まり—



今から約三〇〇〇年前(紀元前千年)ごろから弥生時代に入ります。イネを作って米を食べ、金属の道具をつくりはじめた時代です。東京都文京区本郷の弥生町の遺跡で見つかった土器から、弥生時代とよばれるようになりました。

北九州から始まった米作りによって人の生活が豊かになったのですが、戦争が始まった時代でもありました。吉野ヶ里遺跡の学習では、首のない人骨や体に十二本の矢がささった人骨が見つかっています。戦争で死んだ兵士をかめに入れて、うめたようです。戦争のおそろしさが想像できるでしょう。

また、縄文時代にも矢じり(矢の先につける石)がありました。弥生時代になるとその重さが重くなっているそうです。縄文時代は軽い矢じりを使って、遠くにいるイノシシやシカをとっていました。それが、重くなったという事は、矢を使う相手が、動物から人へと変わった事を示します。戦争のための道具に変わってきたのでした。米作りの始まりは、戦争の始まりであり、それが今の時代まで続いています。

### ☆授業の感想から☆

・今日、吉野ヶ里遺跡のことを知りました。人骨に頭のない状態で、かんおけに入れられてえたことを知りました。弥生時代は殺したり殺されたりがふつうだったのかと思いました。(中岡)

・弥生時代に戦いがあつたというのは聞いたことがあつたけど、すごくひさんな状態で人が死んだのはびっくりしました。(下田)

・縄文時代より弥生時代のいい所は、米作りが始まつたことです。でも、矢じりがささつたままの人骨があつたので、とてもこわかつたです。(喜沢)

・米作りが始まり安定したけど、争いが起きてしまつて、戦つて死んだ人骨があつてこわかつた。(塚本)

・弥生時代は、いろいろな建物がありました。人の骨に矢がささつたまま死んでしまつた人骨を見ると、とてもせつなく思います。(奥谷)

・今とちがつて、死んだ人を焼いたりせず、そのまま土にうめていたことを知った。いつから、死んだ人を焼いたりしていたのか知りたい。(川原)

・頭のない骨や矢がささつたままの骨があるなんて、すごくこわいと思った。弥生時代は想像以上におそろしい時代だ。動物の狩りから人間との争いになるなんてすごく残酷だと思った。(井上)

・歯をぬく習慣や頭の骨がなくなつていたり、矢がたくさんささつていたりして、びっくりした。弥生時代は縄文時代とちがつて、争いが多かつたことがわかつた。(安川)

# みんなの日記から



□「六年生になって」 三瀬詩月

私は、六年生になってからがんばりたいことは勉強です。理由は、学年が上がってくるとだんだん難しくなってくるので、六年生の勉強を、とくに算数をがんばりたいです。

次に、がんばりたいのは、委員会やクラブ活動などです。六年生が一番上の学年なので、みんなを引っばっていきける六年生にならないといけないから、そうなりたいです。

他にも、読書もがんばっていききたいです。私は読書が大好きなので、たくさんいろんな本を読んで勉強したいです。

□「六年生になって」 藤岡咲良

私は六年生になって、五つのやりたいことをします。

一つ目は、苦手な漢字を克服することです。これまでは、習っている漢字を使わず、ひらがなを使っている時があったので、それを克服したいです。

二つ目は、最初から最後まできれいな字で、見やすく、わかりやすくノートを書くことです。

前までは、最初だけキレイに書いていたので、六年生からは、「キレイ」を保つようにしたいにします。

三つ目は、自主学習を毎日することです。毎日家に帰って宿題をしたら、自学ノートに今日の授業のまとめとふり返りをしていきます。

四つ目は、授業の時、発言をする数を増やすことです。

五つ目は、寝る前に、今日の反省とよかったことを一つ考えるのと、明日の目標を立てることです。

この五つのやることを目標に、最後の小学校生活を楽しんでいきます。

□「六年生の抱負」 安川颯泰

ぼくの六年生の抱負は、新型コロナウイルスで勉強が出来なかったので、勉強をがんばりたいです。

特にがんばりたいと思う教科は、算数と社会です。算数はとても難しくなっているので、がんばりたいです。社会は歴史や世の中のことを勉強するので、がんばって覚えたいです。

次の抱負は、野球です。コロナウイルスで野球の練習や試合がなくなったので、野球がまた再開したら、がんばりたいです。

## 【考古学のお話③】トイレの話

糞石(くそいし:ふんせき)の中から見つかった20cmほどのへら。「これを何に使ったんだろう。」「便所のそうじをしていた?」「穴の外にこぼれたウンコを集めた?」「おしりをふいた。」「え?へらでおしりをふいたら痛いかも」...など、いろいろな面白い予想ができるでしょう。答えはその通り、へらでおしりをふいていたというのが正解です。このへらは、正式名は、チユウ木というそうで、チユウ木でおしりをふく習慣は、明治のころまで残っていた地方もあるそうです。今でこそおしりを紙でふくのは当たり前になっていくけど、ワラや葉でふく習慣も残っていました。このチユウ木は、20cmぐらいの杉の丸太を乾燥させて、はば1cm程度、厚さ5ミリにうすく切って作ったそうです。これを作るのが子どもの仕事だった地方もあったそうです。今のやわらかい紙、その前は新聞紙や厚紙、その前は、チユウ木というふうに、紙というのがあまり手に入らなかった時代は、木を使っていたのでした。

さて、一回のトイレでこのチユウ木を一本使っていたのではなくて、二、三本使っていたそうです。そこで、この本を書いた佐原真さんは、「二、三本のチユウ木ではたして、おしりがきれいになるのだろうか?」という疑問をもちます。そして、おかしの日本人のウンコについて予想をします。その予想とは何でしょう?続きは、次回に。



## 香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第9号 2020.6.2(火)

### 六年四組のはじまり



クラスがやっと始まりました。この間、クラスの半数ごとの登校で、同じ時間にみんなと一緒に過ごすことができなかつたのですが、これからは三十三人全員一緒です。何をやるにしても、四組の一員であることを忘れず、みんなの力で、まとまりのあるクラスにして行きましよう。

本当なら、友達とふれ合って遊びたい所ですが、それでもできず、不自由な生活が続きます。みんながかわいそうで仕方ないのですが、こればかりは仕方ありません。いつまで続くのかはわかりませんが、みんなで協力し合って、この困難を乗り越えて行きましよう。

昨日は、学級の始まりとして、くす箱を開きました。堀川くんがヒモを引っ張りました。中からメッセージは出たのですが、紙テープが落ちていく所がメッセージの裏になって、見えませんでした。次回は修正します。そして、予定通り、運動場に出ではしからはしまで二往復走りました。何を言ってもよいと言っていたのですが、みんなはおくゆかしくて、声も出さずに走っていました。思い切り走ることは、ずっとやっていなかったのではないのでしょうか？運動場を思い切り走った感想はどうですか？

ようやく始まった六年生。先生は、六年になったこの四月からの一カ月半の時間をとりもどしたいと思っています。今日から卒業の日ですが、みんなにとっても、先生にとっても小学校生活最後の時間なのです。それだけに、毎日をこい毎日にしていきたいと思います。

### ☆六年四組が始まって☆

・みんながそろってうれしかったし、六年生が始まったなと思った。六年生でいい思い出を作って卒業したいです。  
(酒井)

・久しぶりに学校が再開して、友達にも会えてうれしいです。コロナウィルスのせいで、一カ月半も休みができて、勉強がおくれて最悪です。でも、もう六年の生活が始まって、最後の学年なので、勉強をがんばりたいです。  
(上田)

・今までは限られた人しか会えなかつたけど、今日からはみんなと会えたのでうれしかった。これからは、おくれた時間の分だけ、がんばって楽しみたいと思った。  
(八田)

・長い間休みだったから、時間を少し失ったかもしれないけど、それをまき返すぐらいがんばろうと思いました。調子がくるっているので、がんばって元にもどして、さらに、それを乗り越えていけるように、がんばろうと思った。

(戸川)



## 学級当番一人一役

**当番とは**・・・気持ちよく毎日を過ごすためには どうしてもクラスには必要な仕事、または、あったらべんりなもの。委員会とクラブの関係で言えば、委員会にあたるものです。

コロナのえいきょうで、できない当番もありますが、一学期間は同じ仕事を行います。当番はどちらかというありがたくない仕事です。でも、気持ちよく毎日を過ごすためには、なくてはならない仕事ですので、がんばってやってほしいです。

### 朝の会でやること

- ・朝の会の司会(木村)(佐藤こ)
- ・時間割(藤岡)・教室はき(塚本)
- ・ぞうきん整理(高山)
- ・かさ立て整理(安川)
- ・ロッカー整理(戸川)・連絡(井阪)
- ・出席調べ、保健(岩本ひ)
- ・ならべチェック(喜沢)(澤田)

### 給食の時間にやること

- ・ゴミぶくろ(大武)(倉谷)
- ・はいぜん用意(三瀬)(渋谷)(菅野)
- ・片付け 月火(西野)火水(堀川)
- ・水木(岡田)木金(佐藤ふ)金月(磯田)

### 終わりの会でやること

- ・終わりの会の司会(井上)(土家)
- ・日付・気温・みぞふき(川原)

### 一日を通してやること

- ・黒板消し(岩本な)・あいさつ(谷口)
- ・鉛筆けずり・そうじ(下田)
- ・水とう(中岡)・学級日誌(上田)
- ・お休み連絡(八田)(奥谷)
- ・トイレのスリッパ男子(酒井)女子(久保)

・みんなと会えて楽しかった。特に、高山君や木村君としゃべれてよかった。(佐藤こ)

・久しぶりに全員に会えてうれしかったです。私が一番心に残ったのは、運動場をクラス全員で走ったことと、くす箱を開けたことです。運動場を走ったときは、すごく気持ちよかったです。くす箱を開けたら、中身が出てきて、「一年間みんなとがんばろう」と思いました。学校があることは、当たり前じゃないことを知って、感謝の気持ちでいっぱいです。(澤田)

・六年生が始まって思ったことは、「こんな子がいるんだ」「あの子と友達になりたいな」と言うことです。この一年間楽しいクラスになるよう、努力したいと思います。(岩本な)

・始めにくす箱をわった。その後に、運動場のはしからはしまで二往復走った。とても気持ちよかったです。つかれた。こんな機会は、余りないと思うので楽しかった。仲の良い友達と会ってうれしかったです。(岡田)

・私は家での自粛生活に慣れてしまっ、学校に行く朝は、いつもより早いので、すっきり起きられません。でも、学校はとても楽しみにしていたので、学校に来てうれしかったです。(久保)

・六年生になるとき、コロナでどうなか心配でした。でも、無事に全員登校できてよかったです。くす箱を開けたときはおもしろかったです。(井阪)



・会っていない人とも会えてうれしかったです。一時間目に外で走って、つかれたけど、みんなと走ったら楽しかったです。また、みんなと授業ができたし、話したりできて、とても楽しかったです。(倉谷)

	縄文系	顔の特徴	弥生系	
	四角/長方形	顔形	丸/楕円	
	直線	造作	曲線	
	凹凸	プロフィール	なめらか	
	立体的	彫り	平坦	
	太い/濃い/直線	眉	細い/薄い/半円	
	濃い/多い	髭	薄い/少ない	
	二重	まぶた	一重	
	小さい	頬骨	大きい	
	大きい/福耳	耳たぶ	小さい/貧乏耳	
	広い/高い	鼻	狭い/低い	
	厚い	唇	薄い	
	小さい	歯	大きい	
引き締まる	口元	出っ張り気味		

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第10号 2020.6.3(水)

## 縄文人と弥生人



縄文時代や弥生時代の学習では、日本人のルーツについて学習しました。

日本人はアジア人種で、中国や朝鮮の人と顔が似ていることは明らかですが、日本人はどこから来たのかは今でもよくわかっていません。それは、古い時代の骨が発見されていないからです。しかし、古い時代(旧石器時代)の地層から、石器が発見されていることから、日本には約六〇万年に人が住み着いたとされています。

三万年ぐらい前になって、比較的暖かった時期に、中国や東南アジアなどの広い地域に住んでいた人(モンゴロイド)が周囲の地域にちらばります。日本にやってきた人が、後の縄文人になるといわれています。(近年の科学の発達によって、DNA鑑定の結果、日本人のルーツは、ロシアのバイカル湖の近くにあるとも言われています)

縄文人の特徴として、

・顔が上下に短い・耳たぶが大きい・二重まぶた・まぶたが太い・耳あかがしめついている・わきの下においがあがるなどです。

(骨からこんなことがわかるってすごい!!)

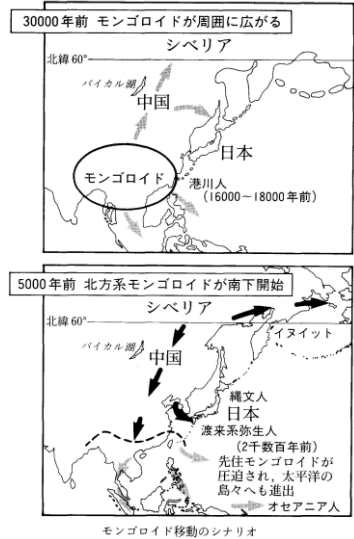
それから、弥生時代のはじめから、奈良時代の千年の間に、約百万人の人が中国や朝鮮から渡ってきます。この人たちが渡来系弥生人と呼ば

ばれています。(特徴は、縄文人と逆)大陸からやってきた弥生人は、米作りをはじめとして、鉄を作る技術、機織りの技術、漢字など、多くの文化をもたらしてくれたのでした。

この渡来系弥生人と縄文人が混じり合ってきたのが、今の私たちとなります。これは、授業の「むりやり福笑い」(自分の顔のパーツ・2つのうちどちらかを選ぶ)でわかった通りです。縄文人の特徴を多くひきついだ人、弥生人の特徴をひきついた人もいましたが、どちらかの特徴をもっていることがわかってきました。

しかし、渡ってきた人たちが行かなかったところがあつて、それが、北海道と沖縄と言われています。北海道にはアイヌの人たちが住んでいますが、沖縄の人たちと体の特徴が似ており、アイヌの人たちも沖縄の人たちも、縄文人の特徴をひきついています。つまり、古くからいた日本人の先祖にあたるわけなのです。

しかし、「どうして縄文人と弥生人の顔がちがうのでしょうか?」これは、どうも寒さが関係しているようです。三万年ごろシベリアに移動したモンゴロイドは、二万年前の寒さの厳しい氷河期に入っても、石器や寒さをふせぐ衣服などを工夫して、寒さをしのいだとされています。そのうちに、からだがかたくなって、のっぺり顔に低い鼻(鼻が高くほりの深い顔だったら、鼻先



がこおつてしまうからだそうです。)、ひげがうすく、どう長で短足のずんぐりした体になったようです。そして、寒さがゆるむとこの人たちが南下して、その一部が弥生人にあたるそうです。

しかし、寒さに適応するために鼻が低くなつたと言うけど、寒い地方に住むロシアの人たちは鼻が高いし、熱帯などの暑い地方に住む人たちの方が、鼻が低いのではないかと先生は思っています。寒いと行っても今よりももっと寒い時代だったからなのかな？本当はどうなのでしょう？なぞが深まります。

## ☆授業の感想から



縄文人と弥生人の顔がちがうことや、自分がどちらなのかを知られて良かったと思いました。縄文人と弥生人は顔のパーツが真逆だということが分かりました。

(岡田)

縄文人と弥生人の顔がまざりあって今の日本人の顔になったという事を初めて知った。(安川)

今日、ぼくは自分の顔をかいて、ぼくは弥生人になりました。元々いた縄文人と弥生人が結婚して子どもが生まれて、どんどん今の日本人の顔になったようです。ぼくはとてもすごいと思いました。(中岡)

むりやり福笑は何に使うんだろう？と思ったら、歴史の縄文人、弥生人の話と分かってびっくりしました。自分は、弥生人の特徴が多いことを初めて知りました。(堀川)

沖繩には縄文人の特徴を持つ人が多いことを、初めて知りました。(藤岡)

私は全部弥生人の特徴で、とてもびっくりしました。弥生人の特徴を持つ人が、クラスの中では多く、縄文人は少なかった。いろいろな顔ができた成り立ちを知ってうれしかった。(奥谷)

弥生人の特徴が5つで、縄文人の特徴が2つで、自分はどちらかと言うと弥生人に近かった。(磯田)

縄文人と弥生人で顔が真反対でびっくりしました。日本人は縄文人と弥生人が合わさってできていることがわかりました。私は弥生人と同じパーツが多かったけど、家族のみんなはどうか知りたいです。(澤田)

ぼくは、縄文系だと思っていたけど、弥生の方が多くてびっくりした。顔に二つの種類があることを初めて知った。(高山)

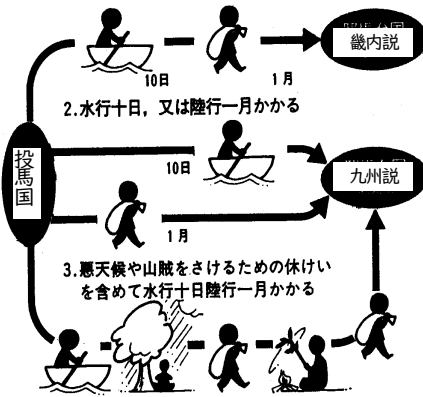
## 【考古学のお話④】— トイレの話 —

糞石(くそいし：ふんせき)の中から見つかった20cmほどのへら。「これを何に使ったんだろう。」「便所のそうじをしていた?」「あなの外にこぼれたウンコを集めた?」「おしりをふいた。」「え?へらでおしりをふいたら痛いかも」...など、いろいろおもしろい予想ができるでしょう。答えはその通り、へらでおしりをふいていたというのが正解です。このへらは、正式名は、チュウウ木というそうです。チュウウ木でおしりをふく習慣は、明治のころまで残っていた地方もあるそうです。今でこそおしりを紙でふくのは当たり前になっているけど、ワラや葉でふく習慣も残っていました。このチュウウ木は、20cmぐらいの杉の丸太を乾燥させて、はば1cmていど、厚さ5ミリにうすく切って作ったそうです。これを作るのが子どもの仕事だった地方もあったそうです。今のやわらかい紙、その前は新聞紙や厚紙、その前は、チュウウ木というふうに、紙というのがあまり手に入らなかった時代は、木を使っていたのです。

さて、一回のトイレでこのチュウウ木を一本使っていたのではなくて、二、三本使っていたそうです。そこで、この本を書いた佐原真さんは、「二、三本のチュウウ木ではたして、おしりがきれいになるのだろうか?」という疑問をもちます。そして、昔の日本人のウンコについて予想をします。その予想とは?

■邪馬台国への道—水行十日陸行一月の謎

1.水行十日してから、陸行一月かかる



卑弥呼の墓ではないかと言われている箸墓古墳は桜井市にあります。

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第11号 2020.6.4(木)

— 社会の授業から 6 / 1 —

邪馬台国の謎



邪馬台国がどこにあったのかは古代史の最大の謎とされています。江戸時代に新井白石が大和説を、本居宣長が九州説を唱えてから、長い論争が起っています。なぜ、謎をよぶのか。それは邪馬台国の手がかりが日本にはなく、中国の歴史書にだけ記されているからです。この歴史書「魏志倭人伝」には、倭の国について書かれた所があり、邪馬台国までの水行、邪馬台国の人々の様子、卑弥呼について書かれています。二二九年(景初三年)卑弥呼が使者を中国の「魏」に送り、「親魏倭王」の称号、金印、銅鏡百枚、織物などをもたらした事が記されています。

○邪馬台国をめぐる、分かれる説

九州説：邪馬台国が九州にあった。

畿内(大和)説：邪馬台国は近畿にあって、それが大和王権になった。

東遷説：邪馬台国は元々九州にあって、三世紀ごろ近畿にうつり、大和王権になった。

というふうな、大きく三つの説があります。

○卑弥呼の鏡をめぐる

卑弥呼は魏の王から鏡をもらったから、その鏡が出てきた場所こそ、邪馬台国があった場所

だと言えるでしょう。

畿内説を主張する人たちは、近畿地方で多く見つかっている鏡(三角縁神獸鏡)を魏の王からもらった鏡だとします。なんとこの鏡には、卑弥呼が使いを送った、「景初三年」が刻まれているからです。また、卑弥呼の墓ではないかといわれる大きな古墳が近畿地方に集中していることなども、畿内説に有利だといえます。

ところが、「三角縁神獸鏡」には、「景初四年」という中国にはない年号が刻まれているものがあります。それに、かんじんの「三角縁神獸鏡」は中国では一枚も見つかっていないことや、百枚しかもらっていないのに、日本では五百枚も出ていることから、これは、まねして日本で作られたものだと九州説の人たちは反論します。

○「水行十日陸行一月」をめぐる

「魏志倭人伝」には邪馬台国への行程も書かれています。この解釈をめぐるでも畿内説と九州説で対立しています。投馬国まではほぼその通りなのですが、ここからの道すじ「水行十日陸行一月」の解釈の仕方がちがうのです。

畿内説：舟で十日進んでから、陸にあがって瀬戸内海の海岸を歩き、一月かかって歩いたら、近畿にたどりつく。

九州説：そうではなく、舟で行ったら十日かかるし、歩いていたら一月かかる。

というふうな、それぞれの説を学者たちは主



張っています。

最近では、奈良県の纏向遺跡から、神殿跡をふくむ大きな都跡が発見され、注目を集めています。ここが邪馬台国ではないかと言う人も…。みんなほどの説が正しいと思いますか？これからも新しい発見があると、きっとこの謎も解決されていくことでしょう。

## ☆授業の感想から



邪馬台国はどこにあるのか？大人がちがう意見を言っていることにびっくりしました。私は九州説じゃないかと思う。理由は、大陸が近いからだ。これから色々な事をもっと知りたい。

(渋谷)

邪馬台国の場所がまだ分かっていなくて、九州説、畿内説、東遷説があるけど、畿内説だったらいいなと思った。

(大武)

いろいろな事が分かり、卑弥呼の事をもう少し知りたいと思った。私は九州説です。分からない事を調べたり、考えたりしてみたいと思った。

(藤岡)

卑弥呼が死んでから、ちがう人が王になると、民が殺し合いを始めてしまったなんて、どれくらい卑弥呼が信頼されていたのかわかる。

(塚本)

ぼくは、中国の魏志倭人伝に、なぜ日本のことがついているのかが気になりました。魏の皇帝が鏡を百枚もあげたと言っているのにもびっくりしました。邪馬台国にはなぜがいっぱいありそうでした。

(佐藤心)

いつか手がかりを見つけて邪馬台国がどこにあるのか調べてみたい。大和朝廷の「やま」と、邪馬台国の「やま」が同じだから畿内説だと思う。

(佐藤心)

## みんなの日記から



□「コロナウイルスの臨時休校」 高山大空

ぼくは、コロナウイルスの休業中、時間がたくさんあったので、母に本屋さん連れて行ってもらいました。

弟と一緒に本を探し、五冊買って帰りました。「ウォーリーを探せ」「ドラえもん」のび太の新恐竜」「ミュウツウの逆襲」などを買いました。全部読みましたが、どれもすごくおもしろかったので、みんなも一度読んでみてください。

コロナウイルスがなくなるまで、家でちゃんとステイホームしないといけないなと思いました。これからはコロナウイルスの感染がおさまるまではがんばりたいです。

□「お家で家庭科」

土家璃子

私は、家庭科でもらった「もっとチャレンジ」を参考に、「アクリルたわし」と「ネコのマスコット」

を作りました。

ネコのマスコットは、片方の耳をぬうときに少し失敗したので、平らになっていました。でも、お母さんが、

「上手にできたね。」

と言ってくれたので、うれしかったです。

アクリルたわしは、毛糸を使って作りました。あわ立ちが良くて、よれがちゃんと取れたので、すごいと思いました。

次はくつ下の輪っかを使って、何かを作りたいと思います。

□「休校中のこと」

奥合綾乃

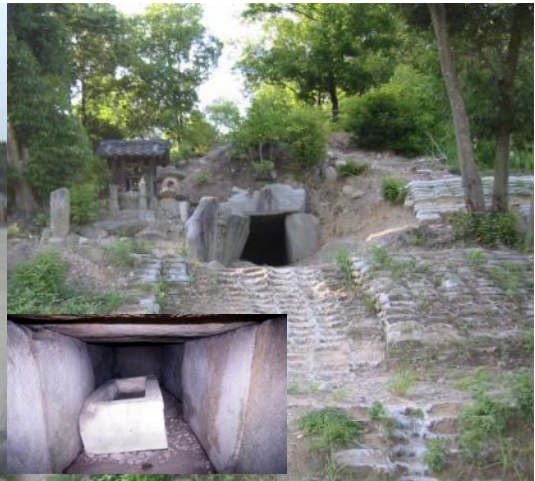
私は、休校中は、学校の宿題や家庭学習をしていました。どこにも出かけられないので、とてもひままで仕方ありませんでした。弟は、今年一年生になったので、

「早く学校に行きたいよ。」

とずっと言っていました。最初の学校がこんな始まり方になるなんて、とてもかわいそうです。唯一遊べる子は、家の周りにいた子たちだけです。最近の子たちとずっと遊んでいます。

おじいちゃんとおばあちゃんが、私の家に来た時は、トランプと人生ゲームを全員でしています。昨日も一諸にしました。これが一番の楽しみです。早く普通の学校生活が始まってほしいです。





↑ナガレ山古墳は馬見丘陵公園に、西宮古墳は平群にあります。↑

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第12号 2020.6.5(金)

古墳探検はどうですか？

—せっかく奈良に住んでいるのだから—

社会の歴史学習は古墳時代に入りました。みんなは歴史に興味を持ってくれて、それは大変良いことだと思います。奈良には文化財がたくさん残っています。そこをたずねて、今学習していることを自分の足で確かめると、もっと興味が持てるし、たくさん発見があるかもしれません。社会の授業で取り上げた古墳は、次の五つの古墳。時代の古いものから書いています。

黒塚古墳(天理市柳本町)

・四世紀はじめ、前方後円墳、130m

一九九八年、未盗掘の古墳が発見されました。そこから、三十枚以上の鏡が見つかり、それは卑弥呼の鏡ではないかと言われ、邪馬台国大和説(畿内説)が有力となったのでした。近くには卑弥呼の墓とされる箸墓古墳があり、これは卑弥呼が魏に送った使者、難升米ではないとも言われています。



ナガレ山古墳(馬見丘陵公園)

・五世紀前半、前方後円墳、105m

以前の教科書に出ていた「ナガレ山古墳」は馬見丘陵公園の中にあります。この辺り丘陵帯は馬見古墳群とよばれ、多

5世紀

くの巨大古墳がちらばっています。当時の豪族である葛城氏がおさめていた地域であり、ナガレ山古墳も葛城氏のだれかの墓ではないかと言われています。古墳の周囲には円筒埴輪をならべ、古墳が造られた当時の姿に復元されています。後円部には階段で登れるようになっていて、そこから、周囲のいくつかの古墳が見渡せます。

大仙古墳(伝仁徳天皇陵(大阪府堺市))

・五世紀後半、前方後円墳、486m

教科書にもものっている日本最大の前方後円墳です。先生が子どもころは仁徳天皇陵とならつたけども、今では、疑わしいとされています。それは、出てきた円筒埴輪が五世紀後半のものであるのに、仁徳天皇は四世紀前半に亡くなったという記録がありずれがあるからです。

藤ノ木古墳(斑鳩町法隆寺)

・六世紀後半、円墳、48m

未盗掘の古墳が発見されました。中からは男性二人の骨が見つかっています。出土品には、金銅製冠・履物・馬具・大刀・剣などがあり、身分の高い聖徳太子に関係する一族のだれかではないかとされています。

石舞台古墳(明日香村)・七世紀初め、80m

横穴式石室の古墳で、蘇我馬子の墓ではない

前号の答え/正解はB「左ヒラメに右カレイ」ヒラメもカレイも海の魚なので、腹を手前にして、目がどちらについているのかを確かめます。そして、見分け方として、「左ヒラメに右カレイ」というのがあります。目が左についていたらヒラメ、右についていたらカレイです。

かと言われています。飛鳥特有な花崗岩でできた古墳です。大きい石は修羅を用いて、運んだようです。

### 西宮古墳（平群中央公園）

・七世紀中～後半、方墳 36m

西宮古墳は平群中央公園の中にあります。多くの古墳は石棺がないのですが、ここには石棺がおりてあります。聖徳太子の子どもである山背大兄王の墓という説があります。

春の校外学習で行けなかった飛鳥や法隆寺や藤ノ木古墳などがある斑鳩も機会があればうちの人に連れてもらってほしいと思います。他県の小学生ではできない学習をみんなは身近にできるのですから。

### ☆授業の感想から 6/2



・日本には古墳が十六万基以上あって、そのたいがい内部の物がうばわれていることにビックリしました。出土品がある古墳はすぐくめずらしい事なんだと思いました。

（堀川）

・なぜ、前方後円墳はあのような形にしたのか不思議に思った。大きな墓をつくるのは、とても大変だったと思う。

（八田）

・石舞台古墳のあの大きい石を運ぶ、修羅をよく考えたものだと思った。埴輪には、他にどんなものがあるのかが知りたい。

（塚本）

・奈良県内には、古墳がたくさんあってびっくりした。大仙古墳は486mもあるなんて、すごいと思った。他にも大きな古墳がたくさんあって、卑弥呼は、とてもなくすごい人なんだと思った。（井上）

・大仙古墳をつくるのには、大量の材料が必要なのに、どうやって集めたのだろう。機械がないのに、どうやって作ったのだろうと思った。（戸川）

・古墳に入っている人はだれかなんて分かっているものだと思っていたけれど、本当にその人なのか分かっていないことに、とてもビックリしました。

（久保）

### みんなの日記がう



□「始まった六年生」

堀川太陽

宿題で「六年生になってから」と言う日記が出されました。

まず書くこととして、クラスに仲の良い友達がたくさんいて、（あまりくいのない日になりそうだなあ。）と思っていたのですが、三月二日にコロナウイルスの感せんばく発のために、政府が春休みまで休むことを要求して、急に休みになりました。ぼくはうれしいのと、心配なのと、悲しいのがごちゃまぜになっていました。そして、五月七日までえん期になっていることを知りました。だから、六年の始まり方があまりにもす

ごかったと思います。

次に心配なのは勉強です。三年生や四年生などはともかく、一年生は、初めてちゃんと勉強するか、おくれた分すぐく大変だと思っています。ぼくたち六年生も、受験や中学に向けてすごく大変な時期です。ぼくには七歳上の兄がいて、その兄は大学一年生なのですが、兄の大学では、春学期はインターネットで勉強することが決まったそうです。小中学生もそうなるのか心配です。今後どうなるのかすごく心配です。

□「六年生になって」

西野一翔

ぼくは六年生になって、遠足や歴史の勉強などを楽しみにしていたけれど、新型コロナの影響で、遠足はいけなくなっても残念だと思いました。

初めは全く歴史に興味がなかったけど、歴史の宿題やジャズストスマイルをしていくうちに、だんだん昔の出来事などを知ることができて、歴史がおもしろくなってきました。だから、六年生の遠足はとても行きたかったです。

まだ六年生は一学期が少なくなっただけで、まだ、二学期、三学期があるので、少なくなっただけ、一日一日をしっかり勉強して楽しく過ごしたいと思います。